

岡山市総合特区
デイサービス改善インセンティブ事業説明会
次第

於：岡山プラザホテル 5階 延養の間

【スケジュール】

- 18:00～ 受付
- 18:30～19:00 事業説明(質疑応答含む)
- 19:00～19:10 グループワーク説明
- 19:10～19:40 グループワーク① 評価項目の選定
- 19:40～19:45 休憩
- 19:45～20:15 グループワーク② 指標の選定
- 20:15～20:30 発表
- 20:30 説明会終了

【配布資料】

- ・ 資料1 岡山市総合特区デイサービス改善インセンティブ事業
- ・ 資料2 「グループワーク」の進め方について
- ・ 資料3 デイサービスの評価項目・指標(案)
- ・ アンケート

岡山市総合特区デイサービス改善インセンティブ事業

(総合特区介護サービス質の評価モデル事業)

岡山型持続可能な社会経済モデル総合特区

国の総合特区制度を活用し、介護保険の先進的事業に取り組んでいます。
AAA(エイジレス・アクティブ・アドバンスト)シティ岡山を全国に発信

○平成26年1月からの実施予定の他事業

・総合特区介護機器貸与モデル事業

「メンタルコミットロボットパロ」、「おだやかタイム」、「パワーアシストグローブ」
を貸与します。

・総合特区介護予防ポイント事業

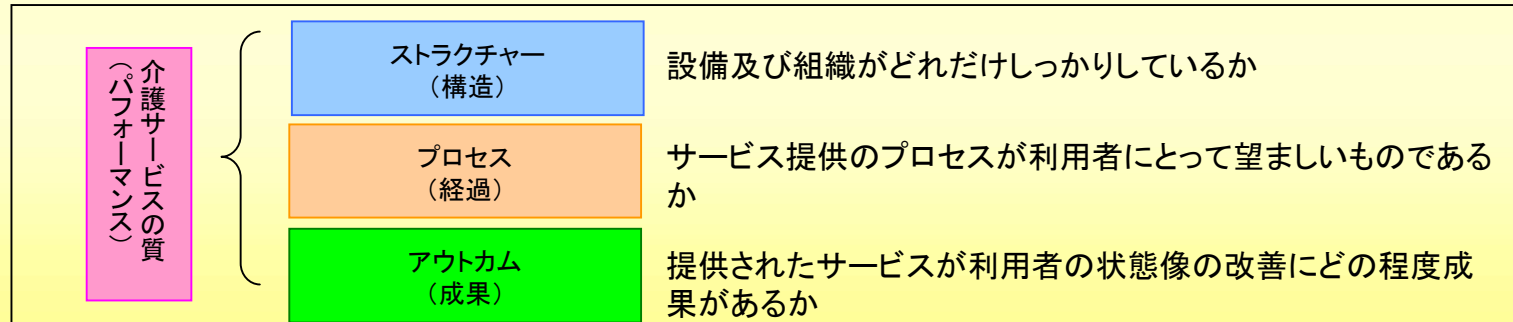
要介護(要支援)者から非該当となった方が参加できる場所(フィットネス
クラブ等)を創設 等

デイサービス改善インセンティブ事業の目的

通所介護事業所の介護サービスの質を評価し、利用者の状態像の維持・改善を図る
(利用者のQOLの向上に努める)事業所についてインセンティブを与えることで、事業所
の介護サービスの質の向上を図るとともに市全体のデイサービスの質を向上させることを
目的としています。

介護サービスの質を評価する

介護サービスの質を評価する場合、そのアウトカム(例えば要介護度)だけに着目するのではなく、ストラクチャーやプロセスを評価することが重要と考える。



質を評価する項目(価値)・指標の問題

デイサービスには様々な事業所があり、その質を評価するには、複数の項目(価値)が存在し、その項目(価値)の中に各指標が存在する。

質を評価する項目(価値)・指標を検討し選定

質を評価する項目(価値)・指標を、岡山市とデイサービス事業所が協力して、全体で選定し、基準を作る必要がある。「共同」して選定することが大切と考えます。

通所介護サービスの質の評価階層図

共通理念

介護保険の理念
「自立」

事業所が達成すべき
具体的な目標

状態像の維持・改善
(利用者のQOLの確保)

メリットを受ける
当事者の明確化

利用者

従事者

地域

サービスの質を評価
する項目(価値)

介護
技術

事業所
の意識
向上

従事者
支援

地域住
民の意
識向上

指 標(案)

ストラクチャー
(構造)

国家資格
取得者

国家資格
取得者

有給取得率

プロセス
(経過)

キャリア
段位

実習生
受け入れ

資格助成

地域交流
家族の交流

アウトカム
(成果)

状態像
改善

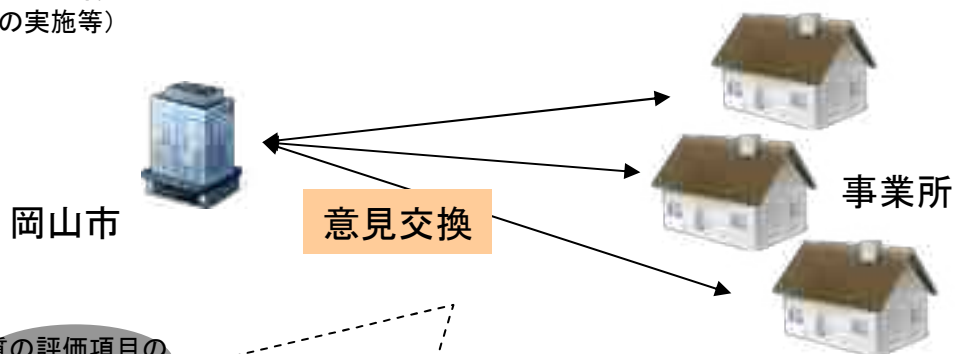
デイサービス改善インセンティブ事業イメージ

H25年度：事業準備

H26年度：事業スタート

サービスの評価項目の選定

サービスの質を評価する項目（価値）・指標を、岡山市、通所介護事業所と共同して選定（デイサービス改善インセンティブ事業説明会の実施等）



質の評価項目の
着眼点

介護サービスの質
(パフォーマンス)

ストラクチャー
(構造)

人員配置等(OT・PTを配置しているなど利用者に対するサービス提供の体制が整っていること)

プロセス
(経過)

介護技術(キャリアアップ研修への参加等)地域社会との交流等

アウトカム
(成果)

要介護度の改善

インセンティブ制度

○評価項目・指標調査

○調査結果に応じてインセンティブ(奨励金)を付与



○情報公開を行い、質の高い取組みの普及を図る

質の評価検討WT

評価項目・指標の確立、分析項目の検討等を行う。
(岡山大学、国立保健医療科学院、岡山市)

岡山大学

調査結果・分析 等

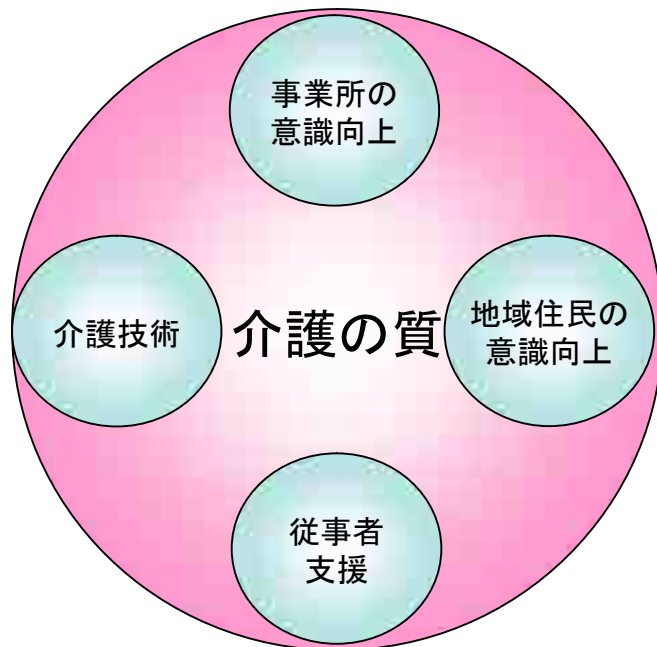
デイサービスの質の評価項目の選定の流れ

1. 質を評価するための「項目(価値)」と「指標」を選定

岡山市とデイサービス事業所の共同作業で「項目(価値)」と「指標」を選定する。

デイサービスの質を評価する概念図

○質を巡る複数の項目(価値)



○項目ごとの指標

介護技術

- ①自立に向けた取組み(IADLの改善度)
- ②認知症の調査件数
- ③キャリア段位における申請者数

事業所の意識向上

- ①専門職の配置割合
- ②備品配置割合
- ③広報誌の発行回数

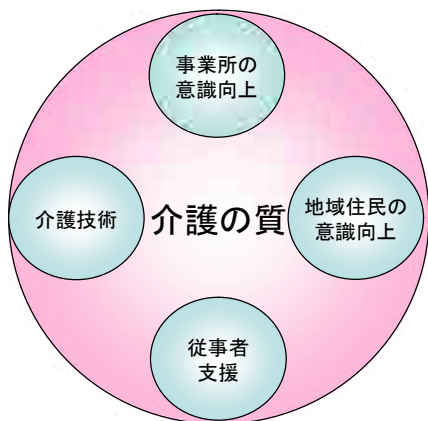
従事者支援

- ①資格取得に係る助成額
- ②従業員の有給消化率
- ③職員満足度調査の結果

地域住民の意識向上

- ①地域行事の実施回数
- ②ボランティアの受け入れ人数
- ③家族会の開催日数

2. 各指標の評価基準値を設定



事業所の意識向上
 ①**専門職の配置割合**
 ②備品配置数
 ③広報誌の発行回数

例えば「**専門職の配置割合**」が指標に選ばれた場合…

岡山市内のデイサービス事業所の「**専門職の配置割合**」を調査

アンケートや調査には
 デイサービス事業所の協力が不可欠

例えば、上位2割程度が「良」となるように、岡山市が評価基準値を設定

順位	事業所名	専門職数
1	○事業所	10
2	○事業所	10
49	△事業所	8
50	△事業所	8
51	□事業所	6
279	□事業所	1
280	□事業所	1

「良」と評価(上位2割程度)

上位2割程度の数値の所に、評価基準値を設定する。
 評価基準値 = 8

岡山市が評価基準値を設定

3. 来年度のインセンティブ付与について (以下は、現時点の検討案ですので、決定ではございません)

「項目(価値)」「指標」「評価基準値」等が決まると、デイサービス事業所を評価します。
(平成26年度事業スタート)

インセンティブ付与の要件: 全ての指標の評価基準値を超える事業所

全事業所の指標値一覧表

	事業所名	スタッフ数	指標2	指標10	合計
1	○事業所	10	10	10	100
2	○事業所	10	10	10	100
3	○事業所	10	10	10	100
49	△事業所	8	8	8	80
50	△事業所	8	7	8	79
51	□事業所	6	6	10	64
279	□事業所	1	1	1	10
280	□事業所	1	1	1	10

全ての評価基準値を超える事業所を対象に
利用者の状態像の維持・改善度を算出



上位にインセンティブを付与
(上位の事業所については情報公開を行い、
質の高い取組みの普及を図る)

1つでも下回れば、対象外

1つ超えていても、対象外

5. 事業スケジュール


平成26年2月4日 7日	市内全デイサービス事業所を対象に全体説明会(第1回)の開催 →事業説明及び「評価項目(価値)」と「指標」の議論
平成26年2月下旬	各指標に対するデータの収集のため調査票の送付(郵送)
平成26年3月中	全体説明会の開催 →「項目(価値)」と「指標」の集計結果と指標確定の報告 平成26年度事業の概要説明
平成26年度	デイサービス改善インセンティブ事業スタート
平成27年3月	上位にインセンティブ(奨励金)を付与

岡山市総合特区 デイサービス改善インセンティブ事業

「グループワーク」の進め方について



平成26年2月
岡山市新病院・保健福祉政策推進課



今回の「グループワーク」で議論する内容

(前半)

- 各テーブルに割り振られた大項目のうちで、各テーブルごとに議論を行う「**評価項目**」を決めてもらいます。(30分)

(後半)

- 各テーブルごとに選んだ評価項目について、具体的に**数値化できる「指標」**を考えてもらいます。(30分)



「グループワーク」の進め方①

- **簡単に自己紹介をしてください。**
（皆様の事業所の特色も交えつつ、1分程度でお願いします）

「グループワーク」の進め方②

- 各テーブルに割り振られた大項目のうちで、各テーブルごとに議論を行う**評価項目**を決めてもらいます。

1. 割り振られた大項目の中には、評価項目が4～6つありますので、**各自2つ**選び、付箋に**①項目名②選んだ理由③事業所名**を記入して下さい。（5分程度）

※提示している評価項目以外の項目であっても、新規に評価項目を提案していただいてもかまいません。



2. テーブルのA3用紙に各個人の意見を言いながら、各個人の意見を書き込んだ付箋を貼っていき、付箋について話し合ってください。

※付箋には…
こんな感じで書き込んでいきましょう！！

① 職員満足度の確保

②理由

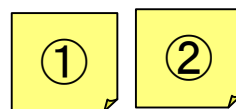
利用者の状態像を良くするためには、職員の職場環境を整えることが大事だ！

③ 岡山市〇〇デイサービス

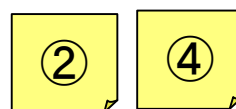
「グループワーク」の進め方③

3. テーブルのA3用紙に貼った付箋をもとに、後半に話し合う評価項目を**2つ**決めてください。

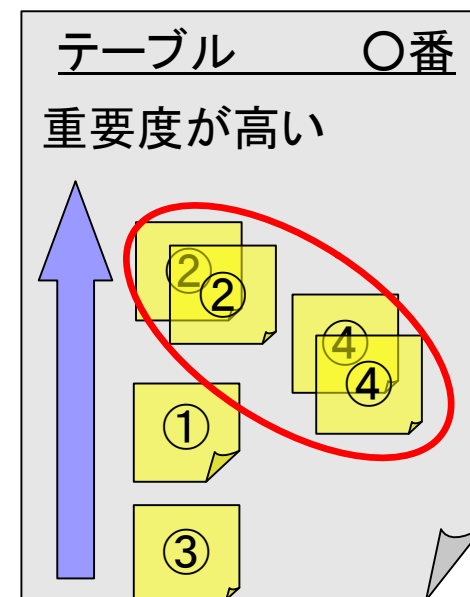
Aさん 「私は、〇〇といった理由で①と②の評価項目が大切だと思います。」



Bさん 「私は、〇〇といった理由で②と④の評価項目が大切だと思います。」



⋮



「グループワーク」の進め方④

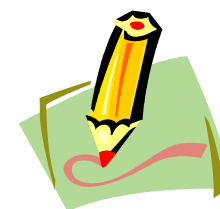
- 各テーブルごとで選んだ評価項目について、具体的に数値化できる「**指標**」を考えてもらいます。

①前半で決めた評価項目の**指標が岡山市案で適切かどうか**を考えてください。（新規の指標の提案をしていただいてもかまいません。）

②思いついたことは付箋へ記入してください。（10分程度）
付箋に**①指標名②選んだ理由③事業所名**を記入して下さい。

※付箋には…

こんな感じで書き込んでいきましょう！！



賛成：ライム

- ①指標名：●●
②選んだ理由：指標として適切だ。（ただ、事業所間で不公平があるので、定員で補正する必要あり
③事業所名：▲▲

注意：イエロー

- ①指標名：●●
②選んだ理由：この指標では、○○のような弊害を起こす危険がある
③事業所名：▲▲

新規提案：ピンク

- ①指標名：■
②選らんだ理由：第3評価の評価項目でもあり事業所の負担軽減のため。
③事業所名：□□



「グループワーク」の進め方⑤

指標については、下記4項目にご留意いただき、ご検討ください。

- 介護サービスに相関するものであること
- 数値化できるものであること(有無を問うものではないこと)
- 事業所が容易に測定・集計できるものであること
- 各事業所の指標を集計した結果に、ある程度の分布があること(結果に差がつくこと)

「グループワーク」の進め方⑥

- テーブルのA3用紙に貼った付箋について話し合ってください。
- テーブルのA3用紙に貼った付箋の優先度を決めます。

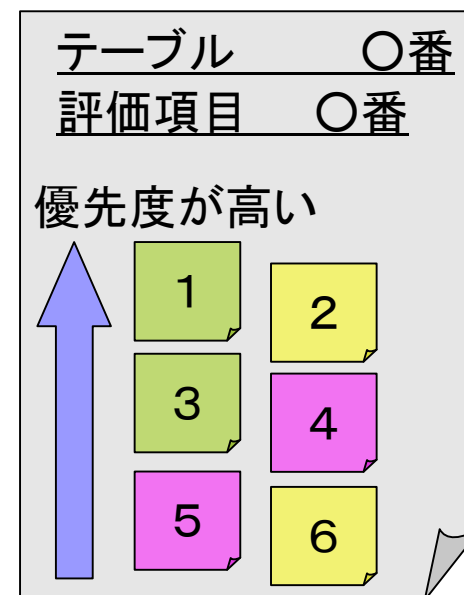
Aさん 「私は、〇〇といった理由で賛成です。」

Bさん 「確かに、〇〇で賛成ですね。」

⋮

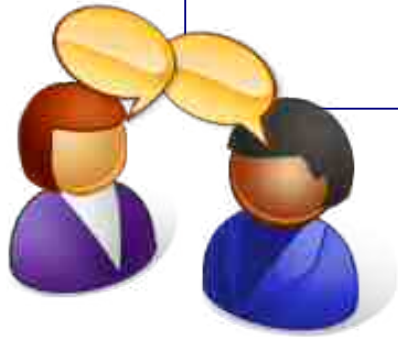
Fさん 「では、評価項目〇番の指標としては、〇〇としましょう。」
「順位付けると、右の絵のようになりますね。」


Cさん 「それでは、次の評価項目の指標へ進みましょう。」



3つのエチケット

- 積極的に話し、積極的に聴く
- どのような考えでも歓迎する
- 話は簡潔に、相手の話を否定しない





グループワークの発表について

- 各テーブルごとに下記4点を発表していただきます。

①議論した大項目

②選んだ評価項目

③選んだ指標

④指標を選らんだ理由

デイサービスの評価項目・指標(案)

資料3

番号	大項目	テーブル	評価項目(価値)	理由	指標(数値化できるデータ) 岡山市案	留意点	メモ
1	従事者支援	① ④	資格取得に向けた支援、継続的な能力開発の実施	資格取得の支援体制の充実、職員のスキル向上に寄与するので、利用者の状態像の維持改善につながる。	各事業所における資格取得に係る助成額のうち1件当たりの最大額		
2			専門的ケア習得に向けた外部研修参加への支援	職員のスキル向上に寄与するので、利用者の状態像の維持・改善につながる。	○研究発表の回数 ○研修助成金額	どこまでの研修を評価対象とすべきか (例えば数時間で終わる研修と、一週間で終わる研修を同じ評価すべきなのか)	
3			職員満足度の確保	職員満足度の確保は、職員の体制が整いサービスの安定供給につながる。	満足度調査の結果		
4			職員が安心して働ける環境の整備	職員が安心して働ける環境の整備は、職員の体制が整いサービスの安定供給につながる	従業員の平均有給取得率 (職歴に応じて決まっている有給の取得率(労基法上の取得推奨率))		
5	介護技術	⑤ ⑧	状態像の維持改善度(自立に向けた取り組み)	状態像の維持改善は自立につながるため	○ADL維持改善率 ○IADL維持改善率 <計算式> 維持・改善人数/サービスを受けた利用者		
6			加算対象サービス以外の提供	加算対象サービス以外のサービスでも、状態像の維持改善につながる	加算対象サービス以外で行っているサービスの種類	加算対象以外のサービスはどのようなものを評価すべきか <参考:加算対象サービス> 個別機能訓練、入浴介助、栄養改善、口腔機能向上、送迎、若年性認知症、中山間地域等	
7			専門的な認知症ケアの提供	認知症高齢者へ専門的なケアを提供することは、状態像の維持改善につながる	○認知症実践研修への参加人数 ○認知症の調査の件数割合(長谷川式、DASC、浦上式、等)	調査票の種類	
8			自己評価の実施	自己の介護技術の向上は質のよりサービスにつながるため	内部評価実施人数(キャリア段位における申請者数)		
9			キャリア段位制度への参加	自己の介護技術の向上は質のよりサービスにつながるため	キャリア段位研修会参加人数		
10			利用満足度調査の実施等による利用者の意見の収集	利用者の意見を収集することで、より利用者の状態像に合ったサービスを提供することができる	○利用者満足度調査の公表率 ○利用者満足度調査の結果		
11	事業所の意識の向上	⑨ ⑫	機能訓練指導員について、幅広いニーズの機能訓練に対応しているか。	専門職の充実、職員のスキル向上に寄与するので、利用者の状態像の維持改善につながる。	機能訓練指導員について、国家資格の職種数 ※人数の考え方は、公表されている事業所情報に準じて計算		
12			生活相談員の体制	専門職の充実、職員のスキル向上に寄与するので、利用者の状態像の維持改善につながる。	生活相談員のうち、常勤の社会福祉士がいるか、非常勤の社会福祉士がいるか、社会福祉士がいないかの3択 ※人数の考え方は、公表されている事業所情報に準じて計算		
13			介護職員の体制	専門職の充実、職員のスキル向上に寄与するので、利用者の状態像の維持改善につながる。	介護福祉士人数/介護職員数 ※人数の考え方は、公表されている事業所情報に準じて計算		
14			理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師又は准看護師、柔道整復師、あん摩マッサージ指圧師、社会福祉士、介護福祉以外の専門職の配置人数	専門職の充実、職員のスキル向上に寄与するので、利用者の状態像の維持改善につながる。	歯科衛生士、管理栄養士、音楽療法士、認知症ケア専門士等の職種数	他に評価すべき専門職はないか	
15			実習生の受け入れ	未来の介護職員の確保はサービスの安定的供給につながり、結果として、利用者の状態像の維持改善につながる。	○受け入れ延べ人数/定員 ○受け入れ日数		
16			利用者がくつろげる環境の整備、事業所全体の雰囲気・快適性への配慮	利用者が安心してできる空間の確保は、利用者の機能訓練に専念できる環境につながり、利用者の状態像の維持改善につながる	食堂及び機能訓練室について、併せた面積と利用定員の商の値(指定基準は3平方メートル×利用定員)		
17			状態像の維持改善を図るための機器等の充実	様々な機器の充実が状態像の維持改善につながる	○機能訓練用の機器類及びレクリエーション用の機器の種類 ○定員数に対する機器の配置数		
18			広報紙の定期的な発行	広報誌を通じて、利用者が事業所情報を知ることができ、利用者は状態像に合ったサービス(事業所)を選択することができる	年間の発行数		
19			事業所情報開示に向けた取組	利用者は事業所情報を知ることができ、利用者は状態像に合ったサービス(事業所)を選択することができる	県が管理する事業所検索HPにおける任意事項の記載数	他に適切な指標がないか	
20			医療機関との連携(急変時、精神科(認知症)、歯科医)	医療機関との密接な関係は、利用者の安心につながる	緊急搬送先を把握している利用者の人数	他に適切な指標がないか	
21	地域住民の意識向上	⑬ ⑰ ⑲ ⑳	地域社会との交流(地域行事の参加等)	地域等との交流は、介護保険制度への理解につながり、結果として在宅生活の環境確保につながる。	○地域住民が参加可能な施設内行事の実施回数(／年)		
22			地域住民の介護体験やボランティアの積極的な受け入れ	地域等との交流は、介護保険制度への理解につながり、結果として在宅生活の環境確保につながる。	延べ人数/定員		
23			家族会、介護教室の開催	地域等との交流は、介護保険制度への理解につながり、結果として在宅生活の環境確保につながる。	開催日数		
24			利用者・家族等との適切なコミュニケーション	地域等との交流は、介護保険制度への理解につながり、結果として在宅生活の環境確保につながる。	○利用者懇談会の開催件数(／年) ○家族への意思決定支援件数		

※テーブルの割り振りについては2月7日のものです。